

News Clip & AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



■日本視聴覚教育協会「一般財団法人」へ移行

日本視聴覚教育協会は、新公益法人制度改革に際して、一般財団法人への移行を目指し作業を進め、内閣府公益認定等委員会へ申請していたが、3月23日、移行認定書が交付された。これを受けて、平成24年4月1日をもって、「一般財団法人日本視聴覚教育協会」としてスタートすることになった。(写真は3月22日、東京都港区・扇が丘会館において開催された第159回評議員会・第249回理事会における経過報告の様子) (関連記事48頁)。

文部科学省情報

■ 応急仮設校舎等における電子教材（電子黒板）について

文部科学省では、東日本大震災に係る公立諸学校建物其他災害復旧費補助金交付要綱への追加について、3月21日に青森県外1都14県教育委員会施設主管課長宛に通知し、東日本大震災による被害に伴い整備する仮設校舎等が狭隘その他やむを得ない事由により、既存の設備または公立学校施設災害復旧費国庫負担法により復旧する設備を設置することが困難なため学校教育の円滑な実施に支障を来す場合の応急仮設校舎等の設置期間中に必要となる設備（以下「応急仮設備」という。）の設置を行う整備事業要領を追加した。応急仮設備費は、教材・教具・校具等（電子黒板等の代替教材を含む）の費用とする、とされている。

これは、応急仮設校舎等（間借りを含む）の整備について、応急仮設校舎等で当面の間、使用する設備（教材、教具・校具等）に関して、既存の

設備又は復旧した設備により教育活動を実施することが原則であるが、応急仮設校舎等が偏狭であるなどの理由により、被災前の学校において授業で用いていた教材等を設置することができない場合には、新たに電子教材（電子黒板等）を設置する費用を補助の対象とする、としたものである。

対象は、公立の学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校）、財政措置2/3国庫補助（離島等は4/5）、設置者の標準税収入に応じて最高で96.7%（離島は98%）まで嵩上げとなっている。

なお、文部科学省では関係の都道府県教育委員会情報教育担当主管課長宛に、「応急仮設校舎等における電子教材（電子黒板）について」併せて通知し、県内の状況把握と域内への周知徹底を呼びかけている。

〈問い合わせ先〉 ○応急仮設校舎等における電子教材（電子黒板）について 文部科学省 生涯学習政策局参事官付 TEL 03-6734-2658

○補助金の申請について 文部科学省 施設企画課防災推進室災害復旧係 TEL 03-6734-3036

▶ ハードウェア

電子黒板や教育ソフトウェアと連携した手書き学習端末「JL-T100」

シャープ(株)では、見やすさ・書きやすさにこだわった、10.1型液晶タブレットPCを平成24年3月1日に発表した(写真)。

本端末の特徴は、

- 1 画面に手を置いて、スタイラスペンですらすら書き
紙のノートと同様に画面に手を置いて書くことができるスタイラスペンを付属。書いた文字をテキストに変換する「手書き文字認識機能」も搭載。
- 2 トメやハネも正しく表示、教科書体フォント搭載
トメやハネなど、手書きに近い表示ができ、筆写の手本となる教科書体のフォント(モトヤ教科書2/3/4)を搭載。
- 3 将来のシステム構築にも柔軟に対応できるオープンなプラットフォーム
電子黒板との連携で、児童生徒の集中力・理解力を高めるインタラクティブな授業を展開できる。Android™ 2.3を採用。
※別途アプリケーションの開発や、配信シス



写真・手書き学習端末「JL-T100」

テムの構築が必要。

- 4 学習をスムーズに進めるためのツールの搭載
「ホーム・メニュー」により、学年ごとのメニューを作成。「動画・音声」では、動画・音声データを可変再生。チャプター機能により効果的なリスニング学習が可能。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.sharp.co.jp/business/education/tablet/>
(本体寸法) 約278×180×14mm(幅×奥行き×高さ)
(価格) オープン価格。
(問い合わせ先) シャープ株式会社パートナー企画推進部 TEL 03-3267-4495

AV情報

■ 2012年研究発表とシンポジウム Part2

NHK放送文化研究所では、「そして、テレビにできること—メディア激動の時代に—」をテーマに、標記シンポジウムを開催する。

〈日時〉平成24年4月19日(木)11:00～17:40・20日(金)10:30～17:45

〈会場〉千代田放送会館2Fホール(東京都千代田区紀尾井町1-1)

〈内容〉研究発表、シンポジウム「VOS・SNS時代の“テレビ”と“テレビ視聴”—番組レビューSNSサイト“teleda”の実証実験結果をもとに—」他。参加費は無料だが、事前申し込み先着順にて、定員に達したプログラムから募集締切りとなる。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.nhk.or.jp/bunken/>

〈問い合わせ先〉NHK放送文化研究所
TEL 03-5400-6800

■ 第3回教育ITソリューションEXPO

リードエグジビションジャパン(株)主催、

(社)日本教育工学振興会後援により、標記学校向けIT専門展が開催される。

〈日時〉平成24年5月16日(水)～18日(金)10:00～18:00

〈会場〉東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

〈内容〉学校向け災害対策、教材・教育コンテンツ、教育用ハードウェア、学校業務支援等の展示。セミナー、イベント他。対象は、大学・教育委員会・小中学校・高校など学校教育関係者。展示会招待券は、事前登録により、無料。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.edix-expo.jp>

〈問い合わせ先〉教育ITソリューションEXPO事務局
TEL 03-3349-8510

■ パナソニック教育財団「第38回実践研究助成」助成先決定

(公財)パナソニック教育財団による標記助成先が決定した。「実践研究助成」は、ICTを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画への助成を行うもので、今回の助成件数は、75件(一般(1年間助成))と特別研究指定校(2年間継続研究)の5件。助成先の詳細については、下記を参照のこと。

http://www.pef.or.jp/01_jissen/03_list_h24.html
 (問い合わせ先) (公財)パナソニック教育財団
 TEL 03-5521-6100

■「第6回(2012年度)鈴木みどりメディア・リテラシー研究基金」研究助成決定

メディア・リテラシー分野における若手研究者を育成することを目的に、標記基金の助成先3件が決定した(敬称略)。

(助成先) ○「MANGAとANIMEにおけるジェンダー表象の変容とティーンオーディエンスの国際比較調査」須川亜紀子他、○「『ナショナル・ジオグラフィック』の描いた女性—女性をとらえる視点の研究—」林悦子、○「小学生～高校生向けのメディア・リテラシー教育用教材開発に関する研究」森本洋介他。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.mlpj.org/kk/index.shtml>

(問い合わせ先) NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所(研究助成金担当) MAIL h59633gt@tg.rim.or.jp

文部科学省選定作品

■2月選定 紙しばい/ビデオ/DVD

「忘れないで5つのポイント 自転車の交通ルールとマナー」DVD20分〈小学校(低・中・高学年)、特別活動〉(株)映学社

「話す力・聞く力を育てる」DVD19分〈中学校、国語〉(株)映学社

「1 / 400の奇跡—21世紀の皆既日食・金環日食—」DVD68分〈青年・成人、教養・情操(自然科学)〉関西テレビ放送ライツ開発局

「幸せな時間」DVD72分〈青年・成人、教養〉スターキャット・ケーブルネットワーク(株)

「61ha(ヘクタール)絆」DVD97分〈青年・成人、教養〉インタナショナル映画(株)

放送番組

新番組「ティーンズプロジェクト フレ☆フレ」

新番組に登場するのは、大きな夢に挑戦する10代、名付けて「チャレンジャー」。彼らのもとを、さまざまな分野で活躍する「応援団長」が訪ね、視聴者から寄せられた応援をチャレンジャー本人に届ける。応援の様子やチャレンジャーのその後を放送する視聴者参加型番組。

Eテレ(金)18:55～19:25 再放送(土)12:00～12:30※都合により番組内容変更となる場合有。

〈4月のテーマから〉○「工作男子が被災地支援 すべての仮設住宅に『入浴剤』を!」、○「17歳女性騎手の挑戦 騎手デビュー戦で勝ちたい!」、○「今年にける女子高生ボクサー ロンドンオリンピック出場!」、○「ラスト・生徒会長 3月に『閉校イベント』を実現したい!」。詳細は、下記を参照。<http://www.nhk.or.jp/teens/index.html>

短信

■文部科学省生涯学習政策局参事官付の異動

平成24年4月1日付 ○企画官(併)情報教育調査官 三谷卓也氏→生涯学習政策局生涯学習推進課民間教育事業振興室長○参事官補佐 妹尾剛氏→放送大学学園学務部学習センター支援室長○庶務係長(併)メディア係長 田中勉氏→生涯学習政策局政策課管理係長○情報教育企画係長 平山大輔氏→大臣官房政策課調整係長○教育情報施策調整係主任 為近雄一郎氏→国立教育政策研究所社会教育実践研究センター企画課企画係長○教育情報施策調整係 馬渡寛子氏→教育情報施策調整係長○ICT環境整備係 松尾雄樹氏→学習情報係○教育情報施策調整係 林里沙氏→ICT環境整備係○情報教育推進係 小坂橋祐一氏→神戸大学○京都大学学務部学生課長 水野晴央氏→企画官(併)情報教育調査官○生涯学習政策局社会教育課地域・学校支援推進室室長補佐 西條英吾氏→参事官補佐○生涯学習政策局社会教育課公民館振興係長 高野智志氏→庶務係長(併)メディア係長○初等中等教育局特別支援教育課発達障害支援係長 相川修二氏→情報教育企画係長○群馬大学 小暮和幸氏→情報教育推進係○新規採用 及川香菜子氏→教育情報施策調整係

平成24年4月5日付 ○生涯学習政策局政策課審議第一係長 毛利のみ子氏→ICT環境整備係長

■映機工業株式会社は、国内販売事業を終息することとなった。なお、アフターサービスについては、引き続き対応する。問い合わせ先は、TEL 072-782-7492 FAX 072-781-5435

訃報

東京未来大学学長、東京工業大学名誉教授、日本教育工学振興会会長、日本視聴覚教育協会理事の坂元昂氏が3月22日ご逝去された。享年79歳。